
令和6年度の主な取り組み



RUMOI

その美しさに息を呑むほどの夕陽と
世界三大波濤のまち

－ 目 次 －

1. 留萌市地域公共交通計画の策定
2. デマンドタクシーの実証運行状況
3. 留萌旭川速達便の実証運行状況
4. 高齢者市内バス無償化実証実験事業の実施状況

1. 留萌市地域公共交通計画の策定

【策定目的】 公共交通網の再構築、市内公共交通の持続的な運行の実現

【策定日】 令和7年3月

【計画期間】 令和7年度～令和11年度(5年間)を計画期間

留萌市の公共交通の課題

課題①

広域交通・地域間交通に関する課題

課題②

市内公共交通の維持に関する課題

課題③

公共交通利用促進に関する課題

基本理念

多くの市民が利用する、まちづくりと一体的に取り組む持続可能な地域公共交通体系の再構築

基本方針

基本方針1

広域交通・地域間交通の維持・確保

基本方針2

市内公共交通体系の再構築

基本方針3

公共交通利用活性化策の推進

1. 留萌市地域公共交通計画の策定

基本方針	公共交通施策
【基本方針 1】 広域交通・地域間交通 の維持・確保	①都市間を結ぶ公共交通ネットワークの維持・確保 ②JR留萌本線廃線後の代替交通の維持・見直し
【基本方針 2】 市内公共交通体系の再 構築	①市内バス路線の再編 ②市内バス路線再編に伴うデマンド型乗合タクシーの導入 ③スクールバス(潮静小学校路線)の混乗化 ④こどもデマンドタクシー導入の研究 ⑤市立病院直行バス導入の研究 ⑥新交流複合施設への公共交通結節機能導入の検討 ⑦バス待合所環境の整備
【基本方針 3】 公共交通利用活性化策 の推進	①高齢者向けバス利用促進策の実施 ②ICT化の推進 ③運転手確保に向けた各種取り組みの実施 ④北海道高齢者運転免許自主返納サポート制度の周知 ⑤市民向けモビリティマネジメント実施の検討 ⑥サイクルバス導入の検討

2. デマンドタクシーの実証運行状況

■ 事業目的

- ・ JR留萌本線(石狩・沼田間)の廃線に伴い、JRが運行していて、留萌旭川線バスが運行していない時間帯における、深川方面の移動手段を確保するため、令和5年4月から「**デマンドタクシー(留萌・深川間)**」を実証運行。
- ・ 実証運行期間は早朝便①は令和6年度まで、**夜間便は令和7年度**までを予定。
※早朝便①は早朝便②と統合済み。



■ 運行概要

- ・ 【運行会社】 小鳩交通(株)
- ・ 【運行区間】 沿岸バス留萌駅前待合所～深川駅(留萌IC～深川西IC経由)
- ・ 【運行便数】 1日最大5便(上り3便 下り2便) 平日のみ運行
- ・ 【運行時間】 ○上り【留萌→深川】
○下り【深川→留萌】

区分	留萌発	深川着
早朝便①	5:54	6:44
早朝便②	6:59	7:49
夜間便	19:10	20:00

区分	深川発	留萌着
早朝便	7:50	8:40
夜間便	20:10	21:00

2. デマンドタクシーの実証運行状況

■ 令和6年度運行実績

○上り【留萌→深川】

ダイヤ		乗車人数			金額		
		定期券 (学生)	一般	合計	全体 (メーター料金)	利用者負担額	留萌市負担分
早朝便①	5:54	49人	82人	131人	1,906,070円	103,350円	1,802,720円
早朝便②	6:59	144人	34人	178人	1,971,610円	42,250円	1,929,360円
夜間便	19:10		44人	44人	676,700円	57,200円	619,500円
計		193人	160人	353人	4,554,380円	202,800円	4,351,580円

○下り【深川→留萌】

ダイヤ		乗車人数			金額		
		定期券 (学生)	一般	合計	全体 (メーター料金)	利用者負担額	留萌市負担分
早朝便	7:50		41人	41人	664,390円	53,300円	611,090円
夜間便	20:10	25人	63人	88人	1,287,870円	81,900円	1,205,970円
計		25人	104人	129人	1,952,260円	135,200円	1,817,060円

2. デマンドタクシーの実証運行状況

■ ダイヤ変更(令和7年4月1日～)

資料 1

留萌 ⇄ 深川

デマンド(乗合)タクシーのダイヤが変更になります

■ 上り(留萌⇒深川)

これまで			令和7年4月1日以降		
区分	留萌発	深川着	区分	留萌発	深川着
早朝便①	5:54	6:44	早朝便	6:25	7:15
早朝便②	6:59	7:49			
夜間便	19:10	20:00	夜間便	19:10	20:00

留萌発 早朝便①を「6:25」発に集約

■ 下り(深川⇒留萌)

これまで			令和7年4月1日以降		
区分	深川発	留萌着	区分	深川発	留萌着
早朝便	7:50	8:40	早朝便	7:15	8:05
夜間便	20:10	21:00	夜間便	20:10	21:00

留萌発 「7:50」を「7:15」発に変更

下りは留萌到着時間が「10分後ろ倒し」になります。

■ 上り(留萌⇒深川)

令和7年3月31日以降			令和7年4月1日以降		
区分	留萌発	深川着	区分	留萌発	深川着
早朝便①	5:54	6:44	早朝便	6:25	7:15
早朝便②	6:59	7:49			
夜間便	19:10	20:00	夜間便	19:10	20:00

■ 下り(深川⇒留萌)

令和7年3月31日以降			令和7年4月1日以降		
区分	深川発	留萌着	区分	深川発	留萌着
早朝便	7:50	8:40	早朝便	7:15	8:05
夜間便	20:10	21:00	夜間便	20:10	21:00

留萌 ⇄ 深川

デマンド(乗合)タクシーとは?

- 運行会社 小鳩交通株式会社
- 運行区間 留萌駅前 ~ 深川駅前
(沿岸バス旧留萌駅前待合所)
- 運行日 平日のみ(土日、祝日は原則運行しません)
- 運賃 片道 1,300円
※市外の学校へ通学されている方で、通学定期券をお持ちの方は無料
- 利用方法 小鳩交通株式会社に電話予約 (☎ 42-2233)

早朝便 → 前日の19時まで 夜間便 → 当日の15時まで

問合せ 市・政策調整課 (☎ 42-1809) / 小鳩交通(株)留萌営業所 (☎ 42-2233)

- ・ 協議会での議論を経て、令和7年4月1日からダイヤ変更。
- ・ 広報誌、町内回覧、市HP、SNS等により周知。
- ・ 現状、大きな混乱等は生じていない。

3. 留萌旭川速達便の実証運行状況

■ 事業目的

- JR留萌本線(石狩・沼田間)の廃線に伴い、旭川への速達性を高める新たな交通体系として、高規格道路を經由しながら、羽幌・旭川間を運行する「留萌旭川速達便(特急あさひかわ号)」を令和5年4月から実証運行。
- 実証運行期間は令和7年度までを予定。



■ 運行概要

- 【運行会社】 沿岸バス(株)
- 【運行区間】 羽幌ターミナル～留萌駅前～旭川駅(留萌IC～旭川鷹栖IC経由)
- 【運行便数】 1日上下1便 通年運行
- 【運行時間】 ○上り【羽幌→旭川】

羽幌発	留萌駅前	旭川着
7:50	8:50	10:25

- 下り【旭川→羽幌】

旭川発	留萌駅前	羽幌着
15:55	17:30	18:30

3. 留萌旭川速達便の実証運行状況

■ 令和6年度利用実績

○上り【羽幌→旭川】

ダイヤ	乗車人数						便数	一便当たり 利用人数
	羽幌町	苫前町	小平町	留萌市	旭川市	合計		
7:50~10:25	775人	333人	260人	1,303人		2,671人	361便	7.4人

○下り【旭川→羽幌】

ダイヤ	降車人数						便数	一便当たり 利用人数
	旭川市	留萌市	小平町	苫前町	羽幌町	合計		
15:55~18:30		1,326人	237人	302人	808人	2,673人	361便	7.4人

■ 令和6年度運行経費実績

経常費用	経常収益	差し引き	留萌市負担分 (63%)	交通事業者負担分 (37%)
22,697,688円	13,034,929円	9,662,759円	6,087千円	3,575千円

4. 高齢者市内バス無償化実証実験事業の実施状況

■ 事業目的

- ・ 高齢者の外出に係る金銭的負担を軽減し、社会活動の参画機会の創出、バス利用の促進を図るため、満70歳以上の高齢者が市内バス路線を利用する際の、バス運賃の無償化を実施。
- ・ 令和5年度は対象年齢を75歳以上、割引額を半額としていたが、令和6年度から対象年齢や割引額等を拡大しながら事業を継続。

■ 事業概要

- ・ 【対象者】 満70歳以上の市民
- ・ 【対象事業者】 沿岸バス(株)、道北バス(株)
- ・ 【対象路線】 市内バス路線(市内近郊線、日東団地線 等)
※ 郊外線も市内間の移動の場合は対象
- ・ 【利用方法】 市が交付する乗車証の提示により、市内バス路線の運賃を全額無償化
- ・ 【利用回数】 無制限



4. 高齢者市内バス無償化実証実験事業の実施状況

令和6年度利用実績

区分	利用実績		割合の考え方
	内容	割合	
対象者数	5,882人		R7.3末 70歳以上人口
申請者数	2,626人	44.6%	申請率 (対象者÷申請者数)
利用回数	59,845回	22.8回	一人当たり利用回数 (利用回数÷申請者数)

市内近郊線利用者の推移

区分	令和5年度	令和6年度	対前年比	増減要因
運行日数	281日	298日	1.06倍	悪天による運休が少なかったことによる増
運行便数	3,372便	3,576便	1.06倍	同上
乗車人数	46,000人	55,776人	1.21倍	運行便数の増による乗車人数の増に加え、 一便当たり乗車人数も1.15倍 と増加している。
乗車証 利用回数	13,724回	33,622回	2.45倍	対象年齢の引き下げ、回数制限の廃止による増

バス利用者の増加